

4. 主要事業個別説明資料

該当	重点戦略
	1.自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり
○	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

地すべり対策事業実施検討調査 ～中頭郡の東部での地すべり調査～

1. 事業概要

中頭郡の東部地区においては、地すべり危険箇所斜面の上下部に資産が集積しており、大規模な地すべり災害が同時多発的に発生した場合、甚大な被害が生じる恐れが指摘されています。当該地区では過去にも地すべり災害が発生していることから、大規模地すべり災害発生の危険性について、詳細な調査を実施します。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度 —

完成予定年度 —

平成24年度事業費

約34百万円

概要図



2. 平成24年度の実施内容

地質調査等の現地調査を実施します。

該当	重点戦略
	1.自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり
○	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

**沖縄東部河川総合開発事業（億首ダム）の整備促進
～ 平成24年度 継続事業 ～**

1. 事業概要 億首ダムは、洪水調節、既得取水の安定化及び河川環境保全等のための流量の確保、かんがい用水及び水道用水の供給を目的とする多目的ダムです。 平成5年度から建設工事に着手し、平成25年度の完成に向けて億首ダム本体関連工事等の整備を進めています。	完成・新規・継続の区分 継続
	事業区分(直轄・補助) 直轄
	事業着手年度 平成5年度(建設事業)
	完成予定年度 平成25年度
	平成24年度事業費 約1,728百万円 沖縄東部河川総合開発事業(億首)



2. 平成24年度の整備内容 億首ダム本体関連工事等を完成させ、試験湛水を開始します。

該当	重点戦略
○	1.自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり
	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

一般国道58号「北谷拡幅」の整備促進
～平成24年度 新規事業～

1. 事業概要 <p>北谷拡幅は、沿道に米軍基地等の就業施設、観光・商業施設が集中する北谷町浜川から宜野湾市伊佐に至る延長4.3kmの現道拡幅事業です。</p> <p>北谷拡幅は、交通の集中する沖縄本島中南部西海岸地域において、交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、周辺観光施設へのアクセス性向上及び地域開発プロジェクト支援を目的としています。</p>	完成・新規・継続の区分 新規
	事業区分（直轄・補助） 直轄
	事業着手年度 平成24年度
	供用予定年度 ー
	平成24年度事業費 50百万円

概要図



2. 平成24年度の整備内容

新規事業として、測量、設計を進めています。

該当	重点戦略
	1.自立型経済の構築と持続的发展を支える基盤づくり
○	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

防災事業 一般国道58号 座津武防災
～平成24年度 完成事業～

1. 事業概要

座津武防災区間にある座津武トンネルは、抗口部に急崖な岩盤斜面かつ斜面直上部には不安定な岩盤を有しており、台風等の大雨時には落石、土砂崩壊や越波といった大規模災害が発生することが懸念されています。その際実施される通行規制による住民の孤立や、観光産業への影響を防ぐために、防災対策を実施します。

謝敷拡幅と併せて、平成24年度の供用を目指し、災害時の防火・救急活動の円滑化、それに伴う地域住民の不安の解消を図るため、改良工事、橋梁工事、舗装工事等を推進します。

完成・新規・継続の区分
継続

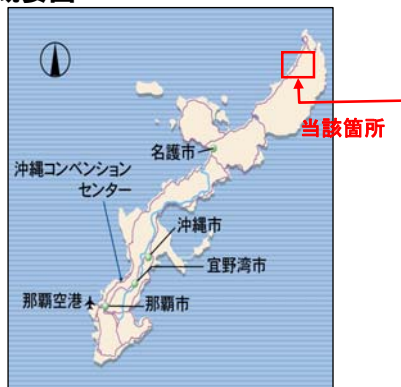
事業区分（直轄・補助）
直轄

事業着手年度
平成16年度

完成予定年度
平成24年度

平成24年度事業費
700百万円

概要図



国頭村北部において、現在通行規制により、401世帯、873人が孤立する状態となっています。

No	集落名	人口 (人)	世帯数 (戸)
1	国頭村字奥	206	90
2	国頭村字辺戸	108	48
3	国頭村字宜名真	177	85
4	国頭村字宇嘉	62	24
5	国頭村字辺野喜	174	86
6	国頭村字佐手	101	45
7	国頭村字謝敷	45	23
	計	873	401



2. 平成24年度の整備内容

平成24年度の供用に向け、改良工事、橋梁工事、舗装工事等を推進します。

該当	重点戦略
	1.自立型経済の構築と持続的发展を支える基盤づくり
○	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

防災事業 一般国道58号 謝敷拡幅
～平成24年度 完成事業～

1. 事業概要

謝敷拡幅区間は、台風や荒天時に落石、越波といった大規模災害が懸念されています。その際実施される通行規制による住民の孤立や、観光産業への影響を防ぐために、当該区間の拡幅工事を行い、災害発生時の通行規制を解消します。

平成24年度の供用を目指し、改良工事、橋梁工事、舗装工事等を推進します。座津武防災の整備と併せて、災害時の防火・救急活動の円滑化、それに伴う地域住民の不安の解消を図ります。

完成・新規・継続の区分
継続

事業区分（直轄・補助）
直轄

事業着手年度
平成15年度

完成予定年度
平成24年度

平成24年度事業費
1280百万円

概要図



国頭村北部において、現在通行規制により、401世帯、873人が孤立する状態となっています。

No	集落名	人口 (人)	世帯数 (戸)
1	国頭村字奥	206	90
2	国頭村字辺戸	108	48
3	国頭村字宜名真	177	85
4	国頭村字宇嘉	62	24
5	国頭村字辺野喜	174	86
6	国頭村字佐手	101	45
7	国頭村字謝敷	45	23
	計	873	401



2. 平成24年度の整備内容

平成24年度の供用に向け、改良工事、橋梁工事、舗装工事等を推進します。

該当	重点戦略
○	1.自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり
○	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

那覇港泊ふ頭地区大型旅客船ターミナル整備事業
～平成24年度 継続事業～

1. 事業概要

那覇港には、外航クルーズ船により多くの外国人観光客が訪れています。しかしながら、その受け入れについては、荷役作業を行っている一般貨物岸壁で対応しているため、沖縄のイメージの低下に加え旅客の安全性および荷役作業効率の低下が問題となっています。こうしたことから、観光立県沖縄としての海の玄関口にふさわしい旅客船ターミナルの整備を行うものです。また、多くの背後圏人口を抱える那覇港では、大規模地震が発生した場合における緊急物資対応の耐震強化岸壁の整備は急務となっています。よって、大型旅客船ターミナルを耐震強化岸壁として一体的に整備することにより、国際交流拠点の基盤整備を図るとともに、防災拠点の整備を図ります。

なお、平成21年9月より暫定供用を開始しており、多くのクルーズ船が利用しています。(H23年の寄港実績53回)

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

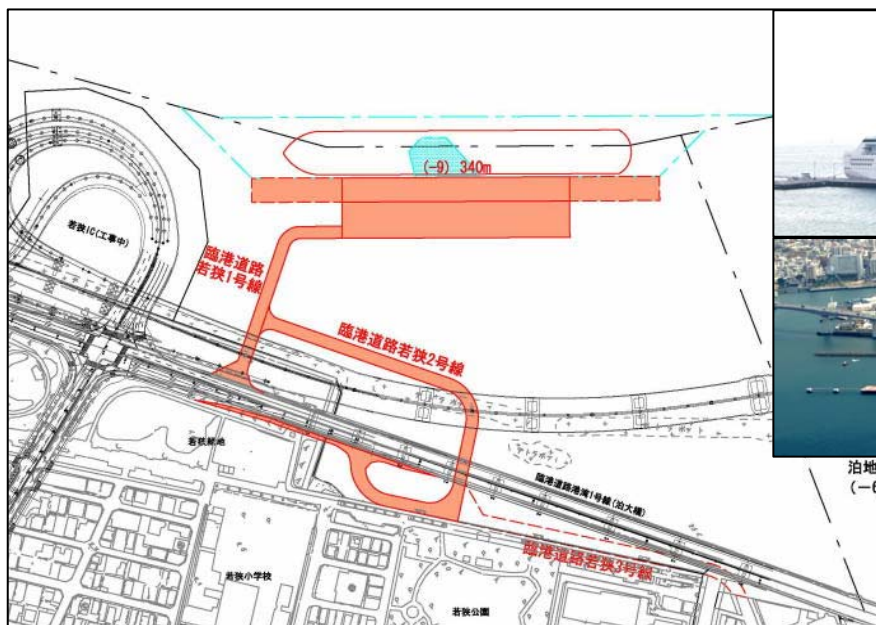
平成18年度

完成予定年度

平成28年度(予定)

平成24年度事業費

684百万円



クルーズ船接岸状況



バースの全景

泊地
(-6)

2. 平成24年度の整備内容

23年度に引き続き、臨港道路若狭2号線の整備を進めます。

該当	重点戦略
○	1.自立型経済の構築と持続的发展を支える基盤づくり
	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

那覇港浦添ふ頭地区臨港道路（浦添線）整備事業
～平成24年度 継続事業～

1. 事業概要

沖縄本島の物流拠点である那覇港から本島中北部方面への物流は、浦添ふ頭以北の臨港道路が未整備であるため、慢性的な交通渋滞が続いている市街地を経由し、輸送することを余儀なくされています。このまま推移すると、那覇港の発生集中交通のみならず一般交通にも極めて深刻な影響を及ぼすことが予想されることから、那覇港から中北部方面への臨港交通機能を強化し、港湾物流の円滑化を図るため、臨港道路（浦添線）の整備を行います。なお実施に当たっては、自然海岸保全のため、当初の埋立方式から一部区間について橋梁方式へ変更を行っております。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成17年度

完成予定年度

平成26年度（予定）

平成24年度事業費

4,737百万円

概要図



2. 平成24年度の整備内容

橋梁の仮設工、下部工、上部工の整備を行う予定です。

該当	重点戦略
○	1.自立型経済の構築と持続的发展を支える基盤づくり
	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

石垣港新港地区旅客船ターミナル整備事業
～平成24年度 継続事業～

1. 事業概要

石垣港は、国内外から大型旅客船が寄港し、石垣市をはじめとする八重山地域の観光産業に大きく貢献しています。(平成23年の寄港実績49回)しかしながら、旅客船に対応した岸壁が未整備であるため、貨物船等と同じ施設の利用を余儀なくされており、荷役貨物の間を乗客が往来するなど安全面や荷役作業の効率性に問題が生じています。よって、旅客船ターミナルを整備することにより、安全・安心及び効率性を確保しつつ、国際交流拠点としての港湾整備を図ります。

また、本事業は観光立市宣言都市である石垣市の観光産業に大きく寄与されることが期待されています。

完成・新規・継続の区分
継続

事業区分(直轄・補助)
直轄

事業着手年度
平成17年度

完成予定年度
平成28年度(予定)

平成24年度事業費
732百万円

概要図



2. 平成24年度の整備内容

23年度に引き続き、防波堤等の整備を推進します。

該当	重点戦略
○	1.自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり
	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

中城湾港新港地区国際物流ターミナル整備事業
～平成24年度 継続事業～

1. 事業概要

中城湾港新港地区は、沖縄県における物資の円滑な流通を確保するとともに産業の振興、雇用機会の創出、産業構造の改善並びに県土の均衡ある発展に資するため、流通機能及び生産機能を併せ持った流通加工港湾として整備を進めています。さらに、平成11年3月には、約122haが特別自由貿易地域に指定され、港湾機能を活用した新たな産業と雇用の場の創出が期待されています。しかし、立地企業が扱う港湾貨物は那覇港を経由して取り扱われており、新港地区において直接貨物を取り扱うことが課題となっています。

このようなことから本事業は、新港地区立地企業の物流効率化を図り、企業進出促進を図る観点から、コンテナ貨物を対象とした国際物流ターミナルとして、岸壁(-11m)及び泊地(-11m)等の整備を行うものです。なお、23年度からは、定期船就航の社会実験を行うなど、さらなる利用促進に向けた取り組みを進めています。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成4年度

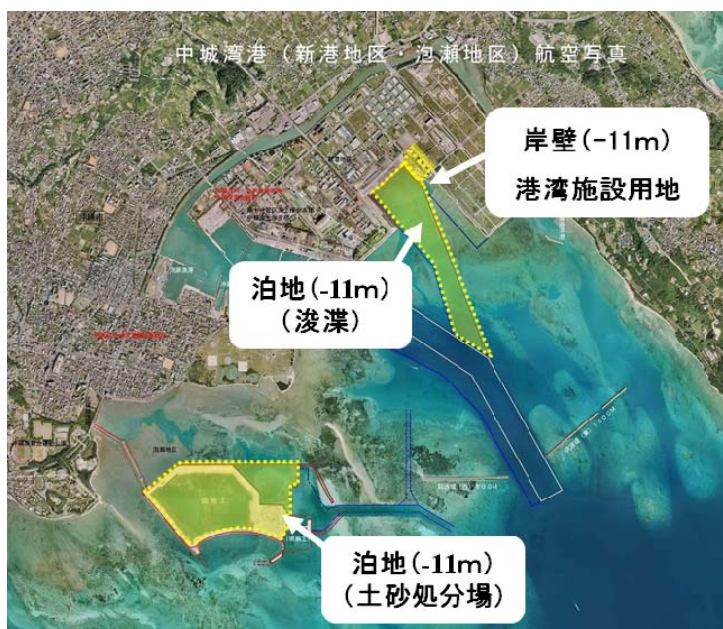
完成予定年度

平成28年度(予定)

平成24年度事業費

2,759百万円

概要図



2. 平成24年度の整備内容

泊地(-11m)の整備を推進します。

該当	重点戦略
	1.自立型経済の構築と持続的发展を支える基盤づくり
○	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い国土づくり
	3.沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎと賑わいのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル改良事業
～平成24年度 新規事業～

1. 事業概要 <p>平良港は、沖縄本島と宮古圏域を結ぶライフラインの確保、広域的な経済活動の維持といった離島地域特有の課題解消を図る上で重要な海上輸送拠点となっています。</p> <p>しかしながら、現在の平良港は、近年の船舶大型化に対応していないこと、施設の老朽化、ふ頭用地が狭隘であることによる非効率な荷役、耐震強化岸壁の未整備など多くの課題をかかえています。</p> <p>このような状況を踏まえ、宮古圏域の安定的な海上輸送の確保及び非効率な荷役形態の改善、大規模地震時の物資輸送に対応するため、平成24年度から複合一貫輸送ターミナル耐震改良を行っていきます。</p>	完成・新規・継続の区分 新規
	事業区分（直轄・補助） 直轄
	事業着手年度 平成24年度
	完了予定年度 平成28年度（予定）
	平成24年度事業費 522百万円

概要図



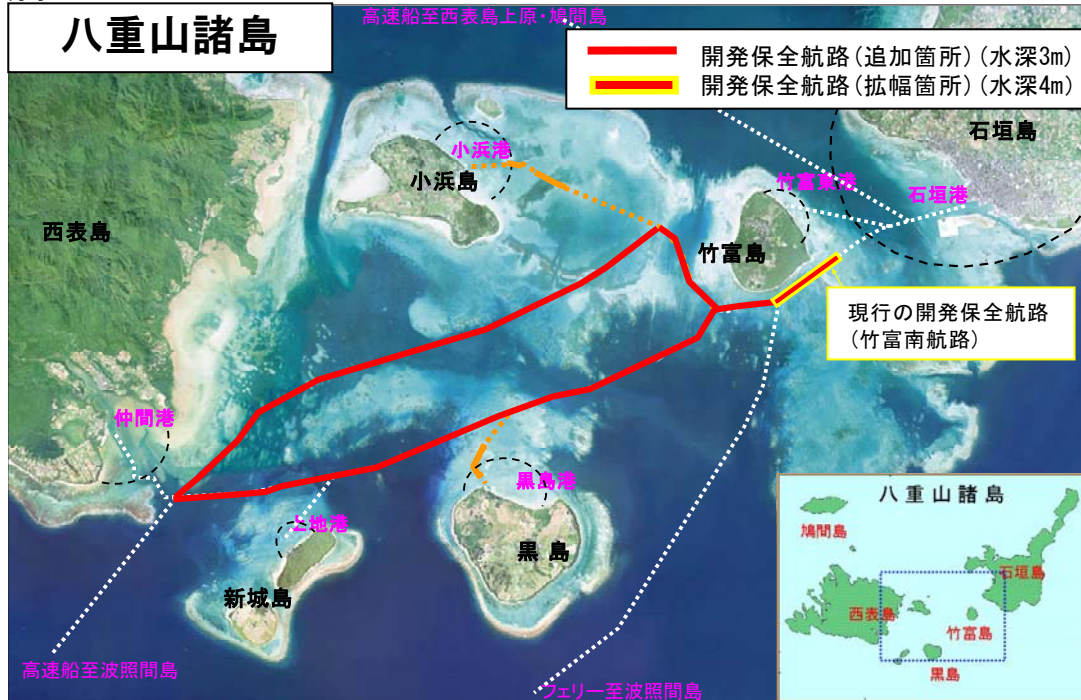
2. 平成24年度の整備内容 <p>新規事業として現地調査、設計を行い、ケーソン製作を予定しています。</p>

該当	重点戦略
	1.自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり
○	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い国土づくり
	3.沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎと賑わいのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

竹富南航路整備事業
～平成24年度 継続事業～

1. 事業概要 <p>八重山圏域における拠点港である石垣島と周辺離島を結ぶ唯一の海上交通路である竹富南航路は、地域住民や来訪者が日常的に利用する航路です。</p> <p>当該海域は、浅瀬、珊瑚礁が多く、フェリー・旅客船はそれらを避けながらの航行を余儀なくされており、また、日中のみの運行に制限されています。このため、海難事故の発生や早朝・夜間における急患搬送ができないなど、海上交通が生命線である離島において地域住民や来訪者の安全・安心が確保されていない状況にあります。</p> <p>このような状況を踏まえ、平成23年度より現行の竹富南航路（開発保全航路）の指定範囲の追加・拡幅及び航路の整備を行っています。</p>	完成・新規・継続の区分 継続
	事業区分（直轄・補助） 直轄
	事業着手年度 平成23年度
	完了予定年度 平成25年度（予定）
平成24年度事業費 667百万円	

概要図



2. 平成24年度の整備内容

23年度に引き続き、航路整備を推進します。

該当	重点戦略
○	1.自立型経済の構築と持続的发展を支える基盤づくり
	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

那覇空港の整備
～平成24年度 継続事業～

1. 事業概要 新国際線旅客ターミナル地区再編に伴う、エプロンの整備を実施します。 また、航空機の安全運航を確保するため、誘導路改良を実施します。	完成・新規・継続の区分 継続
	事業区分（直轄・補助） 直轄
	事業着手年度 平成20年度
	完成予定年度 平成27年度
	平成24年度事業費 895百万円

概要図

平成24年度 施工箇所



2. 平成24年度の整備内容

エプロン新設、誘導路改良整備を推進します。

該当	重点戦略
○	1.自立型経済の構築と持続的发展を支える基盤づくり
	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
	3.沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

国営沖縄記念公園海洋博覧会地区（夕陽の広場の展望施設関連整備）
～平成24年度 完成事業～

1. 事業概要

国営沖縄記念公園海洋博覧会地区の夕陽の広場は、海洋博覧会当時はアクアポリスと一体的に整備されたイベント広場として広く利用されていたが、急峻な地形により広場までのアクセスが困難で主動線から外れていることから利用が困難となり、多目的広場としての機能を失っていた。

来園者に対する安全管理を徹底し、夕陽の広場までのアクセスを向上させるためにバリアフリー化を行うとともに、熱帯ドリームセンターとの縦動線を確立し、上下を結びつける魅力ある機能とデザインに配慮した展望施設関連の整備を行うものです。

完成・新規・継続の区分

完成

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成20年度

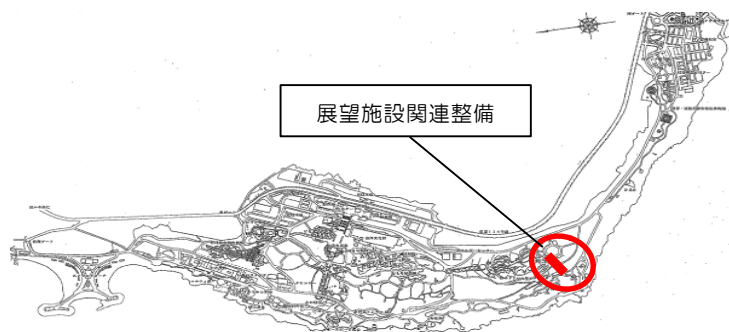
完成予定年度

平成24年度

平成24年度事業費

422 百万円

概要図



2. 平成24年度の整備内容

平成24年度は、展望施設関連を実施し、完成を目指します。

該当	重点戦略
	1.自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり
○	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

<p align="center">名護地方合同庁舎 耐震対策等施設整備事業 ～平成24年度 継続事業～</p>

1. 事業概要 官庁施設については、地震時の災害応急対策活動の拠点となることや来訪者等の安全確保の観点から、建築物全体(構造体・建築設備・建築非構造部材)としての総合的な耐震安全性を確保するための整備を実施します。	完成・新規・継続の区分 継続
	事業区分(直轄・補助) 直轄
	事業着手年度 平成24年度
	完成予定年度 平成24年度
	平成24年度事業費 127百万円

概要図



2. 平成24年度の整備内容

耐震改修を行います。

該当	重点戦略
	1.自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり
	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
○	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

儀間川総合開発事業（久米島町）
～平成24年度 継続事業～

1. 事業概要

久米島町は台風常襲地帯であり、大雨による浸水被害が多発しているため、ダム等による治水対策を進めています。また、水道用水とかんがい用水は同じため池を主な水源としています。このため、毎年夏場の渇水時には水道用水を最優先に確保するため、かんがい用水が確保できず、基幹産業であるサトウキビ畑の干ばつ被害が頻発しており、新たな水源の確保が求められています。

以上のような洪水被害と渇水被害の対策として、儀間川総合開発事業が計画され、これまで平成2年度から実施計画調査を実施し、平成16年度から建設事業に移行し、平成19年度に儀間ダム本体工事に着手しました。完成目標年度は平成26年度となっています。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分

補助

事業着手年度

平成16年度

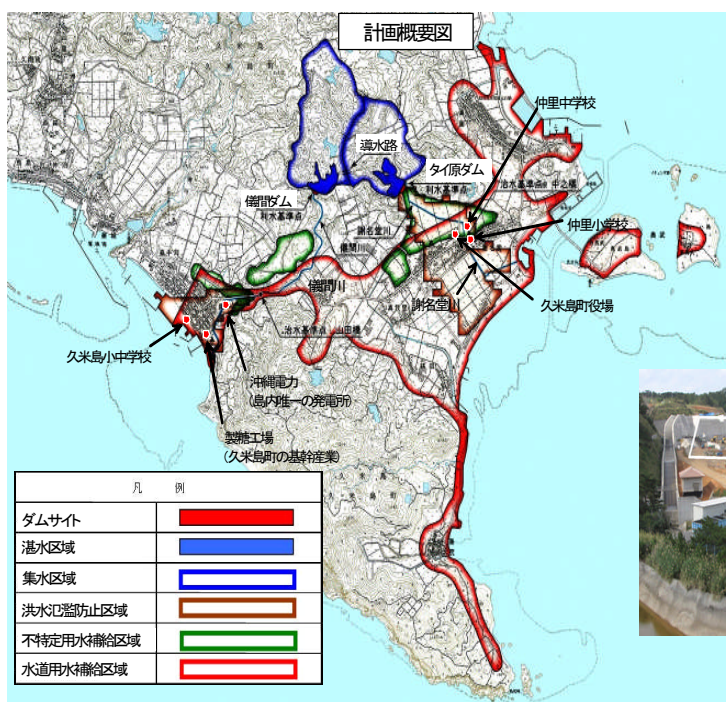
完成予定年度

平成26年度

平成24年度事業費

1,009 百万円

概要図



儀間ダム完成予想図



儀間ダム 下流より本体を望む
(平成24年1月撮影)

2. 平成24年度の整備内容

儀間ダム本体工事、儀間ダム管理設備工事、水文等諸調査等を行う予定です。

該当	重点戦略
○	1.自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり
	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

主要地方道 南風原知念線(地域高規格 南部東道路)の整備促進

～平成24年度 継続事業～

1. 事業概要

主要地方道 南風原知念線(地域高規格道路 南部東道路)は、那覇空港自動車道に連結し一体となって機能することにより、那覇市及び那覇空港、那覇港等へアクセス向上を図る路線であり、沖縄本島南部地域における産業及び観光の振興等を図ることを目的とした道路である。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分(直轄・補助)

補助

完成予定年度

平成 30 年代前半

平成24年度事業費

500 百万円

概略図



2. 平成24年度の実施内容

測量、設計、用地買収を行う予定です。

該当	重点戦略
	1.自立型経済の構築と持続的发展を支える基盤づくり
	2.安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
○	3. 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創造と安らぎのある地域づくり
	4.地域との協働と新たな取り組み

石垣港本港地区離島ターミナル整備事業
～平成24年度 継続事業～

1. 事業概要

石垣港離島ターミナルは西表島、竹富島など八重山圏域の周辺離島航路発着地であり、年間約 185 万人(H22)が利用している八重山諸島観光の玄関口でもあります。

しかし、年々増加する観光客や大型化する船舶のため、水域・陸域とも狭隘化しており、利便性・安全性の向上と貨物取扱の効率化を促進するため、早期供用が期待されています。

なお現在は、離島ターミナルや各離島発着の高速船に対応した浮桟橋 4 基が供用されており、地域住民及び観光客の離島へのアクセス基地として稼働しています。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成 15 年度

完成予定年度

平成 29 年度(予定)

平成24年度事業費

19百万円

概要図



2. 平成24年度の整備内容

23 年度に引き続き、離島フェリーの利便性向上のため、物揚場等の整備を行います。